

# 建設事業は順調に遂行

## 以外に伸びた税収5,109万円の黒字

昭和四十八年度決算と比較してみると、才入では六二％、才出では五九％伸びています。四十九年度に大巾な黒字繰越金となった原因は、村税（法人分）が大巾に増えたこと、及び国税の伸び等による地方交付税の伸びがあり、又次年度財政に備えるため財源保留を図ったことでもよりです。

昭和四十九年度は、最終的には八億九、八三万円に達し、これが決算額においては、才入が九億三、一九九万円、才出が八億八、九〇万円となり、差引五、一〇九万円の黒字繰越となりました。

子算規模では、当初で七億二、二五〇万円に対し、

は、当初で七億二、二五〇万円に対し、最終的には八億九、八三万円に達し、これが決算額においては、才入が九億三、一九九万円、才出が八億八、九〇万円となり、差引五、一〇九万円の黒字繰越となりました。

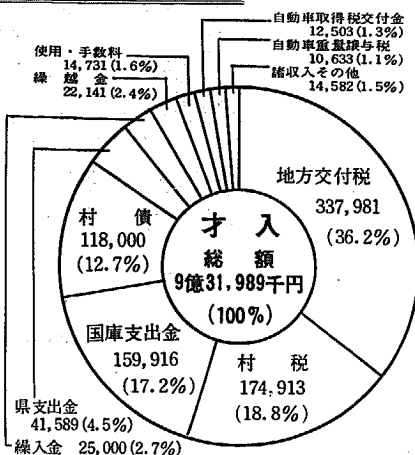
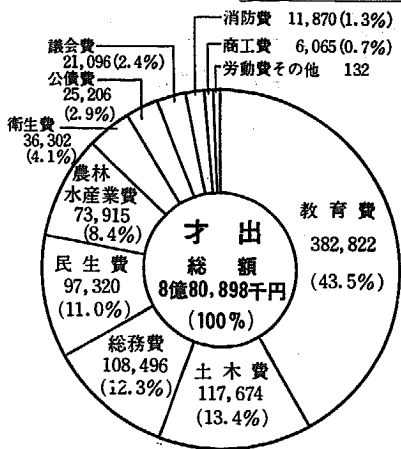
なお、各会計の決算とも議会に提出し承認を求めたものです。

### 財政事情の報告

昭和四十九年度の財政状況調査によって、各会計の決算（見込）がまとまりましたので公表します。

今回は一般会計決算についてお知らせし、特別会計は次号から報告する予定です。

## 昭和49年度横越村一般会計決算

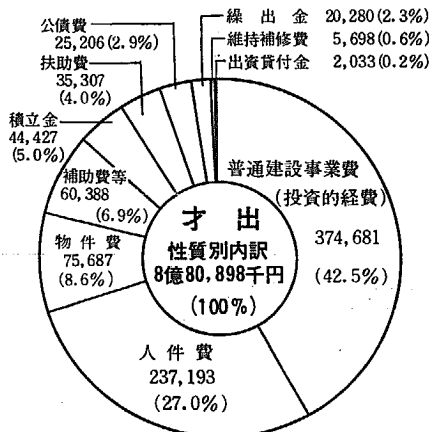


### 村税の収納状況

村民税	99,672千円	99.9%
固定資産税	49,014千円	99.8%
軽自動車税	3,127千円	99.6%
たばこ消費税	11,412千円	100%
電気・ガス税	6,505千円	100%
土地保有税	3,100千円	100%
鉱産税	2,320千円	100%
合計	175,150千円	99.9%

凡例：■ 額定額 □ 収入済額

住居1人当り負担額 21,387円  
一般等当り負担額 99,261円



むららの家計簿  
昭和49年度一般会計決算まとめ

### 村有財産

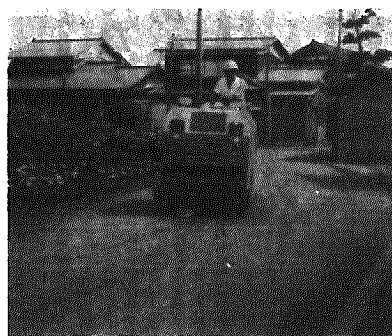
土地	64,493㎡
建物	17,310㎡
出資金	1,618千円
有価証券	80千円
基金	99,567千円
自動車	4台
自船	1隻

### 村債

借入総額	335,040千円
義務教育事業債	225,993千円
一般公共事業債	33,650千円
厚生福祉施設事業債	27,550千円
景観整備事業債	27,071千円
一般単独事業債	16,379千円
災害復旧債	3,939千円
民税減税補てん債	458千円

### 主な建設事業

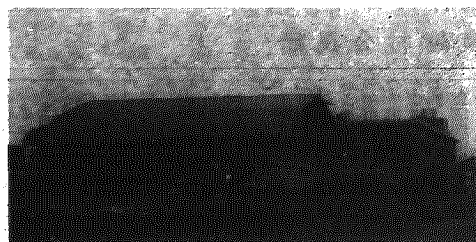
事業名	事業費 (千円)
統合小学校校舎建築費	250,574
道路橋梁等整備費	37,025
都市計画整備費	34,643
農業近代化事業費	25,259
広域農道等整備費	8,015
農業基盤整備費	1,976
特殊排水事業費	4,959
消防施設整備費	4,237
小中学校施設整備費	3,065
庁舎整備費	1,585
交通安全施設	816
その他	2,527
合計	374,681



舗装される村道

### 横越村職員募集

- 一、職名、人員  
一般事務職 若干名  
技術職(土木) 若干名
- 二、応募資格  
高校卒(高卒以上も含む)  
(又は、昭和51年3月卒業予定者で、昭和26年4月2日以降に生れた者)
- 三、応募締切  
昭和50年10月31日
- 四、試験科目  
一般教養、専門知識、作文、面接
- 五、試験期日及び場所  
昭和50年11月上旬  
(日時場所は後日通知)
- 六、採用予定  
昭和51年4月又は同年度中(早まる場合もある)
- 七、願書提出  
役場総務課宛  
(願書は役場受付に用意)
- 八、添付書類  
履歴書、学校成績証明書、健康診断書、以上各一通



急ピッチで進む統合小体育館